授業科目名	安全運航評価論		
開講学科・専攻	博士後期課程 （共通）（共通）		
科目区分・専攻分野	研究科共通科目		
対象学年	1年	クラス	10
単位区分	選	単位数	2単位
開講学期	前期	授業形態	博士後◆研究科共通
曜日・時限	集中	講義室	操船ｼﾐｭﾚｰﾀﾌﾞﾘｰﾌｨﾝｸﾞﾙｰﾑ
主担当教員	内野 明子		
担当教員	内野 明子		
目標と内容及び計画	機器開発における人口知能（以降、AI）の導入は、AIが、人間が担ってきた情報処理を人間に代わって行い、人間が達成するのと同等の機能を達成することを目的としている。AIは人間よりも優れた機能を発揮するところも有るが、最低限必要な機能は、人間が達成している機能の全てを達成することである。故に、実用化には、導入しようとするAI機器が人間と同等の機能を達成するのか、そして、必要な機能を達成するのかを評価する必要がある。 船舶運航では人間が担う機能が多岐に渡る。更に、これらの機能の達成は安全運航の成否を左右している。こうした船舶運航における運航者の技能を研究する重要性から、本学では運航者の行動データを長期に渡って蓄積し、その機能分析に基づいて安全運航を評価する手法を有している。 この科目では、上記した船舶運航者における技能評価を学び、AIの能力評価に応用できるようになることを目標とする。 環境条件によって変化するワークロードを定性的・定量的に推定し、AI の整合性を評価するための理論と方法を学習した後、各受講者が提案するシステムに適用して考察を行う。		
成績評価の方法	レポートならびに講義時間での発言姿勢		
その他	受講希望者は、事前に連絡してください（uchino@kaiyodai.ac.jp）。 講義は原則対面で実施します。		
SDGs（持続可能な開発目標）との関連	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基礎をつくろう 12 つくる責任 つかう責任		